



H30.9.1 東京高輪病院 市民公開講座

# あなたが主役の退院支援

JCHO東京高輪病院

医療連携・患者支援センター

社会福祉士(ソーシャルワーカー)

福田恵子

# 病気やケガをすると・・・

病気やケガをきっかけに、『生活の形』を変えなければならない場合があります。入院すると、切迫した現実問題にぶつかります！



しかし・・・

退院後の生活をリアルに想像することは難しいものです。

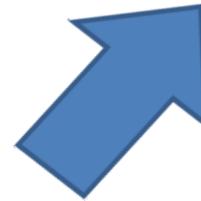
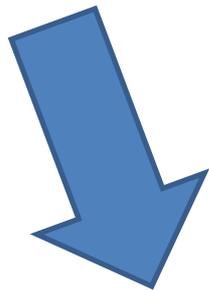
# 急性期治療 その後...



**急性期病院**  
(東京高輪病院など)



**自宅退院**  
(在宅介護)



- ・回復期リハビリテーション病院
- ・地域包括ケア病棟
- ・療養病院
- ・緩和ケア病棟
- ・介護施設

# 心配になったら相談できます！

なんとなく知っておくべき事とは思いつつ、なかなか普段、退院した後の療養環境については今ひとつ知る機会がないものです…

→病院で『退院後の療養環境』について相談できます！



# 実は私達 みんなで考えています

患者さんが入院すると、私達はさっそく  
多職種カンファレンス(話し合い)を  
開いています



# 医療連携・患者支援センター

社会福祉士 3名  
看護師 4名  
事務員 4名

正面玄関の  
すぐ横



# 退院支援～自宅退院の場合～

退院に向けて・・・



病棟の看護師が、地域のケアマネージャーさんと連絡を取り合います

初めて『介護保険』や『在宅医療』を導入する場合には、退院支援看護師や社会福祉士が手続きのお手伝いをします

# <介護保険サービス>の活用

**ケアマネージャー**により『ケアプラン』作成

→訪問介護(ヘルパー)・訪問看護・

訪問リハビリテーション・デイサービス・

デイケア・ショートステイ・

福祉用具のレンタルや購入・住宅改修

☆通院困難な場合は、**訪問診療**利用





# 退院の準備



- ・看護師等による、手技・介護指導
- ・リハビリ見学
- ・ケアマネージャーとの連携
- ・退院後に支援していく関係機関と  
病院スタッフと合同カンファレンス

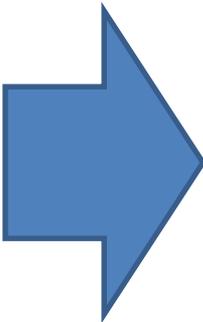
➡ 準備を整えて退院



# リハビリや治療をしたけれど、 自宅での生活は難しそう…

- ・医療的なケアの継続が必要…
- ・介護が困難 自宅の生活は難しそう…
- ・ひとり暮らしに戻るの不安…



- 
- ◎ 療養を目的とした病院への転院
  - ◎ 介護保険を利用(65歳以上)し、  
介護施設などへ入所して生活

# 自宅への退院が困難な場合・・・

急性期病院  
(東京高輪病院)

自宅退院

- ・回復期リハビリテーション病院
  - ・地域包括ケア病棟
  - ・療養病院
  - ・緩和ケア病棟
  - ・介護施設
- ※施設の役割や、受入条件、費用、入所期間に違いがあります

# 医療連携・患者支援センター では・・・

頼れる家族は遠方にいる・・・

親族とはもう疎遠・・・

誰に相談したらいいか分からない・・・

お金のことも心配・・・

何か受けられるサポートは？ などなど



そのことを含めて、ご相談にのっています  
孤立無援ではありません！！

入院の後のことも、一緒に考えます

安心して入院してください

そして、安心して退院してください

病状が変わったら、いつでもまた  
入院のご相談にのっています



# 窓口となります

当院には

- ・地域包括ケア病棟
- ・訪問看護ステーション



があります。

ご利用を考える際の  
窓口となります。



# 生活の主役は、 あなたです

ご自身が希望する生活に、少しでも近づ  
くよう、一緒に考えます。



ご静聴 ありがとうございます

# 参考資料

施設ごとに、受入要件や入所(入院)までの待機期間、費用、入所(入院)期間に違いがあります。

それぞれの病状などを考慮して選択していく必要があります。

## 地域包括ケア病棟

- ・入院の決定には**医師の判断が必要**です
  - ・入院期間は**最長60日間**です
  - ・治療ではなく、**ケアが主**になります
  - ・**自宅への退院**を目指す方が対象です
  - ・**在宅介護中の短期入院(介護者の休息)**にもご利用いただけます
- 
- ・当院には『**地域包括ケア病棟**』があります  
ご希望の方は、ぜひご相談ください



参考資料

# 東京高輪病院 地域包括ケア病棟

緊急・重症な状態の治療は終了したが、  
自宅等への復帰に、まだ準備やリハビリ  
が必要な方々が入院されています。



## 参考資料

費用は？ → 下記の合計

- ・医療費

(医療保険・高額療養費適応)

- ・食事代(460円/食・減額あり)

- ・ベッド差額(自費)

3,240～59,400円/日

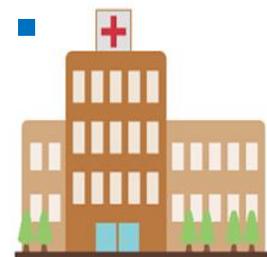
(寝間着・タオル・テレビ代含む)



医療行為が今後も必要な場合・・・



## 療養型の病院



- 積極的な治療ではなく、**医療的ケアの継続**  
(点滴からの栄養、人工透析、頻回の吸引等)
- 24時間、医師と看護師がいる
- 入院期間は病院による(3か月程度～終身)
- **医療保険**または介護保険適応
- リハビリは最大13単位／月(週1・2回程度)
- 寝巻やおむつ、室料差額は実費



# 緩和ケア病棟

## がんの患者さんが対象

がんの進行などに伴う、身体的・精神的な症状があり、がんを治すことを目標にした治療が困難、あるいはこれらの治療を希望しない方を対象。

- 体と心の苦痛緩和
- 苦痛を伴う検査や処置を少なくする
- 患者さんや家族が過ごしやすい設備
- 面会時間の制限が少ない
- 医療保険対応、個室対応



# 介護施設のいろいろ

介護施設にはどんな種類があるの??

- ① 特別養護老人ホーム（特養ホーム）
- ② 介護老人保健施設（老健）
- ③ グループホーム
- ④ 有料老人ホーム
- ⑤ サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）



# ① 特別養護老人ホーム



- 常時介護が必要で在宅生活が困難な方
- 主に要介護度が高い方（要介護度3・4・5）
- 状態が安定していれば長期（終身）入所可
- 入所者の世帯収入により月額費用が決まる
- 入居金なし
- 低額で長期の利用できるが、入所希望者が多く、年単位の待機期間があります
- 医療的なケアを要する場合は困難な場合あり

## ② 介護老人保健施設

- ・介護保険の要介護度1～5の方
- ・病状が安定している方
- ・在宅復帰を目指し、介護やリハビリを受ける
- ・3か月間を目安に、退所あるいは入所継続の検討を行う
- ・入居金なし
- ・入所中は施設の医師が主治医



### ③ グループホーム



- 認知症の診断を受けている
- 施設と同一地域に住民票がある
- 要支援2～要介護度5の方
- 5～9人のユニット単位で共同生活
- 身体機能の低下や医療的ケアが必要になると退所の可能性あり
- 入所金が必要な施設もあり

## ④ 有料老人ホーム



- 食事、掃除、洗濯など生活支援および排泄、入浴、着替えなどの身体介護を全体的に提供する施設
- 自立度の高い方から、介護度の重い方まで入所可能
- 入所中は訪問医・通院にて医療的管理
- 24時間、看護師が常駐する施設もあり
- 入居金や月額など、費用形態はさまざま

## ⑤ サービス付き高齢者向け住宅

- 安否確認や生活相談を提供する、バリアフリーの**高齢者向け賃貸マンション**
- 生活支援や身体介護は、外部の在宅介護サービス(訪問介護)を利用
- 主に**自立あるいは軽度の要介護度**の方を受け入れしている

